



交通安全活動に尽力

交通安全協会中里支部が表彰状

五所川原地区交通安全協会中里支部が五所川原警察署より3,500日間の交通死亡事故皆無の表彰をされ、9月5日(月)役場を訪問し小野町長に報告しました。

表彰を受けて横山聖子さん(派立上)は「支部一丸となって活動してきた結果。これからも交通安全活動をがんばっていきたい」と抱負を述べました。町長からは「みなさんのおかげで3,500日間という記録が達成された。今後とも交通安全活動をよろしくお願ひしたい」と感謝の言葉をおくりました。

東北・全国大会に出場！

中里中女子柔道部が町長を訪問

中里中学校の野上莉来奈さん(薄市上)と今楓香さん(今泉下)が9月7日(水)に小野町長を訪問し、今さんは東北中学校柔道大会3位入賞、野上さんは全国中学校柔道大会3位入賞の報告をしました。

それを受けて、町長は「二人ともとても素晴らしい結果だ。おめでとう」と話しました。野上さんらは「ありがとうございます。これまでの練習の成果を発揮できた結果です」と伝えました。



町の発展を誓う

戦没者追悼式

町戦没者追悼式が、8月31日(水)中央公民館で行われました。式には、遺族会や関係者ら約100人が追悼に訪れました。国歌斉唱、黙祷に続き、遺族会主催の慰霊祭が行われ、各代表者が玉串を捧げました。式辞では、小野町長が「戦後71年を経た今も忘れられない深い悲しみが胸に迫る。先人たちが築き上げた歴史、文化、施策を糧に誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて力強く進んでいく」と述べました。また、県知事、県遺族会、中里遺族会代表が追悼の辞を述べました。最後は、参列者全員が慰霊碑に菊の花を献花し、祈りを捧げていました。



里遺族会代表が追悼の辞を述べました。最後は、参列者全員が慰霊碑に菊の花を献花し、祈りを捧げていました。

美味しい毛豆に大満足

薄市こども園園児が摘み取り体験・試食会

5月に種まきをした毛豆の摘み取り体験が、9月15日(木)薄市こども園で行われ、園児や保護者、五所川原農林高校の生徒ら合わせて約50人が参加しました。

毛豆は、野上健さん(上高根)の園地から30キロを五農生が収穫。園児らは自分たちが植え、大きく成長した枝から毛豆を丁寧を外しました。その後、塩ゆでにしてみんなで味わいました。摘み取り体験・試食会をした園児たちは「簡単に取れて楽しかった。毛豆がすごくおいしかった」と話していました。



町の農業を参考に

スリランカから視察団来町

南アジアに位置するスリランカから、かんがい水資源管理省のラトナヤケ・ウィマラナンダ次官ら3人が9月6日(火)、当町を訪れ、芦野頭首工や農産物加工販売施設ピュアを視察し、日本の排水事業や農業について説明を受けました。

視察では若宮機場なども見学し、農業用水の管理方法を学んだり、ほ場整備事業地区内の農家と意見を交わしたりしました。次官は「スリランカには加工施設がなく、農業用水を再度利用する排水施設も珍しかった。スリランカに必要な技術を学ぶことができた」と話しました。



漁港ってなに？

小泊小学校5年生が漁港の学習会

漁港のことを学ぼうと小泊小学校5年生が西北地方漁港漁場整備事務所などが開催した環境公共(環境に貢献する農林水産公共事業)で行う学習会に参加しました。

学習会は、日本海漁火センターで行われ、漁港の説明からスタート。漁港がどのような仕事をしているのか、消波ブロックの役割などを写真を交えながら説明しました。児童たちは真剣に話を聞き、メモをとっていました。その後は、消波ブロックが作られる場所に移動し、サザエのつぼ焼きを食べたり、地元で獲れた様々な魚介類とのふれあい体験をしたりしました。最後に、記念に設置する消波ブロックに名前や絵を描かせてもらい、特別な消波ブロックが完成しました。



今年最後の夏まつり

駅ナカ夏まつり

駅ナカのぎわいを感じてもらおうと、8月28日(日)駅ナカ「にぎわい空間」で夏まつりが行われ、200人が来場しました。まつりでは、花柳穂紀桜会の舞踊や、起きて夢見る会による「ふるさと交流歌謡ショー」、健康ダンス「ベえ子ちゃん」の踊りが披露され、来場者を楽しませました。最後は、ビンゴ大会で運試し。来場者らは、自分のカードに書かれた番号が読まれると、「よし」と声をあげてカードに穴を開けていました。景品があった来場者は「踊りも楽しかったし、景品も貰えてよかった。また機会があれば来たい」と話していました。



学校給食に食材提供

給食おもしろいやり隊が中里小を訪問

町内でとれた食材を学校給食へ提供している「給食おもしろいやり隊」の佐藤イネ子さん、田中恵津子さん、小野美恵子さんが中里小学校を訪れ、3年生児童と給食の時間を共にしました。訪問した8月26日(金)の献立はおもしろいやり隊のメンバーが育てたカボチャやトマトを使った夏野菜カレー。野菜が苦手な児童も「これなら食べられる」と話し、完食していました。児童らは「野菜がたくさん入っていておいしかったです。野菜を育てる大変さも聞いてよかったです」と話していました。





甘いメロンに大喜び

「イネ子のメロン」の収穫体験

メロンの収穫を体験してもらおうと、9月20日(火)佐藤イネ子さんが中里こども園の園児らと薄市小学校5、6年生を自身の畑に招待しました。代表でメロンを1つずつ収穫すると、子どもたちは順番にメロンを持ち上げて重さを確認していました。

その後、試食用のメロンを切り分けようとする時、子どもたちはその様子を目を輝かせて見つめていました。試食が始まると一斉に食べ始め、みんなでおかわりをしていた。

園児たちは「持ってみたら思っていたよりも重かった。メロンは甘くて美味しかった。もう一つ食べたい」と笑顔で話していました。

中央公民館で3泊4日の共同生活

中里・武田・薄市の小学生が通学合宿

中里地域の小学4～6年生を対象に、9月14日(水)～17日(土)の日程で通学合宿が行われました。今年度で14回目の開催となり、申込者は過去最多の41人となりました。児童たちは4つの班に分かれ、明の星短期大学の学生リーダーらとともに、自宅を離れて4日間を過ごしました。

買い出し、食事づくり、身じたくをして学校へ行くまで、児童が中心となって生活しました。最後の夕食には家族らも招待されました。心配そうに調理室を見ていた保護者の中には、一生懸命料理をする我が子を前に、涙を流している人もいました。



練習の成果！25m泳ぎました

B&G会長杯なかどまりっ子水泳記録会

8月28日(日)、B&G海洋センターで第2回B&G会長杯なかどまりっ子水泳記録会が開催されました。

参加者は少なかったのですが、ビート板を使っての25mバタ足競技、自由形25mを行い、夏休みに練習した成果を存分に発揮しました。

急ぎよ、実施したフリーリレーでは熱戦となり、保護者たちも大きな声で参加者を応援し、楽しい記録会となりました。



上手に漕げた！進めた！

プールでカヌー体験

9月19日(月)、B&G海洋センターでカヌー体験を実施しました。参加した児童らは、最初のうちは「パドルが重い」「うまく進めない」といっていましたが、慣れてくると、パドルをうまく使ってプール内をすいすい進んで楽しんでいました。

参加者から「また来年もやりたい」「楽しかった」、また、一緒に来た保護者からは「親も楽しみたい」というリクエストもありました。

